

R 7 フリートークの取組について

研究主任

1. 本校が取り組むフリートークとは・・・

お題に沿って、児童が自由に自分の考えを伝え合う活動

*山口大学附属山口小学校の取組を参考に・・・

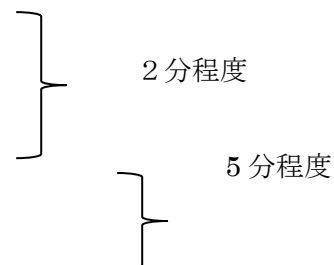
2. フリートークのねらい

相互理解を深めたり、共感的に聴く姿勢や心を育んだりすることにより、コミュニケーション活動の土台となる豊かな人間関係を醸成する

3. 進め方

〔朝の会で7分程度〕

- ①お題提供者よりお題の発表
- ②お題提供者の、お題に対する自分の考えの発表
- ③フロアからの発表
- ④振り返り
- ⑤教師による価値づけ



4. 豊かな人間関係とは

・友だちの考えに興味を持ち、共感的に聴き入れようとする力 ➡ 安心感

「〇〇さんの考えを聞いて、私もそう思ったな。」

「私もそう思ったから、〇〇さんの気持ちが分かるなあ。」

「〇〇さん、こんなことが好きだったのか！初めて知ったなあ。」

・仲間を信頼し、安心して自分の考えを伝えられる ➡ 自己開示

「伝えたい。」「聞いてくれるとうれしい。」

・友だちを認め、受け入れることのできる人間関係 ➡ 自己肯定感

「私は～思うけど、〇〇さんの考えもいいなあ。」

「はじめ、私は～思っていたけど、〇〇さんの考えを聞いて、考えが変わったなあ。」

「〇〇さんのことを知れてうれしいな。もっと知りたいな。」



コミュニケーションを支える土台

5. 目指す児童の具体の姿

①傾聴する力 (相手の意見や気持ち等を、 相手の立場に立って聴く)	・相手に体を向け、顔を見ながら聴く(正対する) ・うなずいたり、あいづちを打ったりしながら聴く ・最後まで聴く ・相手の気持ちを理解しながら聴く
②リアクション力 (相手の言ったことに対し て、表情・体・声を使って反応 し、相手に安心感や親密感を 与える力)	・相手の話を否定せず、受け入れる 「そうなんだあ…うんうん…」 ・うなずいたり、あいづちを打ったりしながら聴く ・相手と同じ立場になる 「そうそう、私も私も!」「あ～、あるある」 ・相手の言葉を繰り返す 「私、宇宙に行きたいの」「あ～宇宙ね!」 ・笑顔で聴いたり、びっくりしたり、表情で反応を返す ・相手に心のこもった拍手を贈る

6. フリートークの価値付け

- ①傾聴やリアクションができている児童に対して
- ②発言はしないが、傾聴やリアクションをすることで参加している児童に対して
- ③発言の仕方や発言の内容に対して
- ④振り返りで友だちの良いところを見つけられた児童に対して

7. お題について

〔低学年向きのお題の例〕

- ・好きな〇〇シリーズ 「好きな給食」「好きな動物」「好きなあそび」
- ・もしもシリーズ 「もしも魔法が使えたら何をしたいか」「もしも夏休みが2ヶ月あったら」
- ・ドラえもんの道具シリーズ 「どの道具がほしいか」「どこでもドアを使えるなら、どこに行きたいか」
- ・AとBどちらが好きか 「遊びに行くなら海か山か」「夏と冬どちらの季節が好きか」

〔中学年向きのお題の例〕

- ・共感しやすいテーマ 「今までで、一番好きな本」「小さい頃、好きだったアニメ」
- ・もしもシリーズ 「好きなお話の世界に入れるなら、どのお話には入りたいか」
- ・行きたいところ 「行きたい国」「行きたい場所」

〔高学年向きのお題の例〕

- ・お悩み相談 「おすすめの自学メニューは」「弟をしつけるにはどうしたらいいか」
- ・もしもシリーズ 「生まれ変わるなら、男がいいか女がいいか」
- ・NIE 関係(時事問題) 「学校にチャイムは必要か」
- ・子ども哲学対話 「幸せってどんなとき」「自由って何?」「何のために勉強するの?」

参考文献 「学びの実感がある授業をつくる 附属山口小の授業とフリートークの取り組み」
山口大学教育学部附属山口小学校 著 学校図書